

磐城平城歴史マップ



1 磐城平城跡 塗師櫓石垣

北から磐城平城本丸に入るところにあった塗師櫓の石垣。野面の石の大きさを揃え、隙間に小さな石を多く入れた新穴太積様式を採用。東日本大震災により崩落、その後、部分修復。
平成13年いわき市指定史跡。
住所：いわき市平旧城跡



2 磐城平城本丸跡

慶長7年(1602)、鳥居忠政は岩城四部のうち10万石を拝領。徳川家康より伊達藩への備えとなる城を築城するよう命じられ、物見ヶ岡に磐城平城を築く。その磐城平城も戊辰戦争により慶応4年(1868)7月に落城。
住所：いわき市平旧城跡



3 丹後沢公園

磐城平城本丸・二の丸・三の丸の内濠。濠建設の際、3度工事をしても崩れてしまったことから、菅波村の95歳の老人丹後が人柱となり完成させたと伝わる。現在は公園として遊歩道・トイレが整備されている。
住所：いわき市平旧城跡4-7



4 長源寺

鳥居忠政が父・元忠の菩提を弔うため、慶応7年(1602)に建立した曹洞宗の寺院。鳥居家墓所は市の史跡に指定されており、市内に残る数少ない大名墓として貴重な遺構。
住所：いわき市平胡麻沢130
電話：0246-23-1789



5 飯野八幡宮

朱色の大鳥居が目印。平安時代の康平6年(1063)奥州討伐の際源頼義が京都府の石清水八幡を磐城の地に勧請し戦勝を祈願したのが始まりとされている。多数の国指定文化財がある。
住所：いわき市平八幡小路84
電話：0246-21-2444



6 良善寺

磐城平藩主・安藤家の菩提寺。明治3年の大火で焼失し、旧内藤家菩提寺の善昌寺跡に移転。戊辰戦争時に焼け残った山門扉には、戊辰戦争で飛び交った鉄砲玉の跡が残る。
住所：いわき市平古鍛冶町107
電話：0246-21-5371



7 天田愚庵の庵

嘉永7年(1854)磐城平藩士・甘田平太夫の五男として誕生。戊辰戦争で行方不明となった父母妹の所在を尋ね全国を歩く。明治20年(1887)得度し禅僧となる。漢詩和歌に親しみ、正岡子規らに多くの影響を与える。庵は京都から移築。
住所：いわき市古鍛冶町127



8 松ヶ岡公園

明治40年(1907)より7年の歳月をかけて造成し、東京大塚にあった安藤邸内のつじを移植。4月上旬はソメイヨシノやオシマザクラなど約270本の桜が開花、5月のツツジ、11月の紅葉と四季折々の姿を見せる。平成28年リニューアル。
住所：いわき市平葉王寺3



安藤信正像

磐城平藩・安藤家5代藩主。江戸時代末期に幕府老中を務め、皇女和宮の降嫁や条約締結、小笠原諸島の領有宣言など業績を残す。大正11年(1922)旧藩士の集いである平安会の提唱により銅像を建立。太平洋戦争により供出、昭和36年(1961)再建。



9 性源寺

山門は磐城平城の裏門を戊辰戦争後に移築されたもの。境内には刀匠・和泉守国虎の墓碑や戊辰戦没者の墓があり、官軍の兵士が眠る。また、戊辰戦争当時は新政府軍によって奥羽出張病院が設置され、敵味方の区別なく治療にあたった。
住所：いわき市平長橋町23